

2014年度サンノゼ校保護者会総会議事録

2014年度(平成26年)5月17日(土)

サンノゼ校マルチユースルーム

記録・佐南

9時25分 開会宣言 (安井副会長)

9時26分 会長挨拶 (青木会長)

9時27分 来賓紹介 (安井副会長)

市川校長

青柳事務総長

城田主幹

9時30分 市川校長先生の話

- 1, 保護者会からの物的サポート(プロジェクター、PC、外部スピーカー等)へのお礼
- 2, 日本の教育事情の変化について
(授業日数、教科書のボリュームの増加)
- 3, 補習校教員の努力について
- 4, 教師、講師がより授業に専念できるよう事務の効率化を目標とし、
事務負担の軽減を目指す。
- 5, 現在手書きの通知表をシステム化へ移行を目指す
(保護者所感欄、担任割印の省略など)

市川校長から保護者への質問

- 1, 保護者欄が必要か否か?

もし廃止になれば、通知表の回収、配布、管理が不要となり通知表紛失等のリスクが減る。
挙手によるアンケートの結果、3名以外は廃止に賛成のため、試行的に行いたいとのこと。
最終的には学校判断で実行できるため、保護者の方々、その点はご了承願いたい。

9時35分 役員紹介(青木会長)

9時40分 クラス委員紹介(青木会長)

立候補以外はほとんどが初めてのクラス委員

5年生。進学率向上の為、昨年3クラスが今年5クラスとなる。

9時45分 図書委員紹介(長野図書委員長)

貸出率が昨年から6割増加の2万冊超え。

理由は校舎移転により、図書コーナーが目立つようになったためではないか。

今年の目標

- 1, 高学年の貸出増
- 2, 蔵書を増やす
- 3, 図書委員に楽しんでもらいたい。
- 4, 一年間楽しく活動。

10時 定足数の確認

出席人数(委任状無し): 110家庭

委任状数(出席者以外、議長委任): 409家庭

サンノゼ校の家庭数、3分の1の定足数を超えているので、この総会は成立。

10時01分 2013年度会計報告(原谷13年度役員(会計代理))

年初から資金活動が足りないとの懸念があり、ファンドレイズに力を入れ大成功であった。

Tシャツ販売、売上 \$ 8 4 6 0
古本市 \$ 3 7 7 7
秋祭り \$ 8 0 3 6
中高部フードバザー \$ 1 2 3 6

その結果、学校への寄付 \$ 4 3 9 3 (物品での寄付)
次年度への繰越 \$ 2 0 3 8
子供へのギフト(水筒など)で還元

借用校へのギフトを、物品から現金に変更。
節約のため、ボランティア関係のリフレッシュメントを見直し。

10時8分 2013会計報告並びに監査報告 参加者多数により承認された。

10時9分 2014年度の保護者会活動について(青木会長)

- 1, 当番システムについての説明とお願い
- 2, 今年の役員活動方針
基本に立ち返り、活動を見直す。

- 3, 今後の保護者会活動の懸念について

リクルート活動をして役員になってくれる人がいない。
”あんな仕事はとて、”とほとんどに断られる現状。
もう少し楽にできる、楽しい役員活動を見せるのが今年の目標。
役員活動のこれ以上の肥大化を避けるため、今年は見直しをしていきたい。

- 4, 保護者会行事の説明

秋祭りの一般バザー、子供バザーの休止、それについての代替案の紹介
幼少部の年末振り替え授業について

10時20分 2014年度保護者会予算案について(姥谷会計)

今年度目標

前年度からの申し送り金と保護者会費で、各種イベント以外を賄う
2010年度から2012年度に急増した収入を今年見直しを行い16%削減、
支出を13%削減して2011年度~12年度レベルに戻す

保護者会費 生徒数増加のため前年度より + \$ 1 9 3 5

バザー、オークション休止により収入削減 -\$ 8 2 0 0
支出 昨年の修了記念品(水筒 \$ 1 3 + 紅白饅頭 \$ 3. 5)を1人5ドルとすることにより
昨年度より30%減 -\$ 5 9 7 2
卒業記念品はこれまでどおり残す。

運営費 \$ 1 9 0 0 プラスとし(2011年度レベルに戻す)老朽化または不足している備品の
購入などをする。
収支をゼロとし、残りを次年度に繰り越す。

10時25分 保護者からの質問

<役員 OB フランク様>

バザー中止、漢字ワーク販売中止、ファンドレイズ中止についての懸念。役員 OB と長年にわたるサポートの

皆様のお陰で補習校がある。補習校をサポートするために、企業は待っている。そこからの寄付を受け入れないということで、補習校がコミュニティから断ち切れ、孤立してしまう危険性がある。いったん関係が切れると、復活させる将来の役員への負担への不安。

子供バザーをするために、補習校は子供の指導のため授業時間を一時間費やしている。

学校側ができれば中止してほしいという感覚があった。いったんやめると、二度とバザーが復活できなくなると、保護者として大変悲しい。今年から保護者会費は上がるのでは？

<会計姥谷>

来年度、15年度から保護者会費は値上げ。今年は暫定処置として繰越金を当てている。来年以降は、保護者会費でイベント以外の支出をまかえるようにしたい。

<青木会長>

フランク様の懸念事項は理解している。現在企業担当者は関係が途絶えないように動いている。バザーの代わりに他のアクティビティを考えている。学校側へは、今年度は休止だけでも、来年は復活するかもしれないと伝えているので、なくなるという不安はない。

<6年生4年生のお孫さんを持つ保護者、板倉様>

企業さんとのつながりをよく知らなかった。いったんバザーをなくすと、もうできなくなる事が心配。バザーによる収入\$8000の寄付は、保護者の努力。お買い物のレッスンはアメリカにおいてできない体験。授業時間を減らしてでもする意味はある。

今年やめる理由が、バザーの残り物の処分をするのが、役員が大変だからではないか？

それをしてでも、\$8000の売上がある方が大事なのではないか？

<青木会長>

昨年、自分も経験して分かっているし、何度も議論を重ねた。保護者全体、ボランティア、役員への大きな負担。実際バザーで購入しているのは、主にボランティアに入った方等、一部に偏っている部分が多い。収入\$8000がなくても、支出をカットすれば問題ない。

前会計の担当柳さんも指摘をされたが、毎年ファンドレイズでの売上を見込んだ予算編成となっている。それを保護者会費内でまかなえるようにできないか？それにチャレンジするのが今年度の目標。

購入体験をさせたい気持ちも理解できるが、今年は別のアトラクションを考えている。

すぐに両立は難しいが、将来的には目指したい。

<役員 OB 原谷様>

一般バザーに関しては、実際去年やってみて大変だった。しかし、子供バザーはしてあげたい。特に幼稚部、小学校低学年には。事実、心ない家庭から信じられないような寄付もあり、処分した物もある。それでも、役員でなんとかして、バザーの形を整えた。何とか子供バザーは続けてもらえないか？

<青木会長>

子供バザーの継続も検討した。

変な寄付が入る、またダイソーで3ドルで購入した物が多く、購入体験は古本市でもできる、という理由で、今年は購入体験より、もう少し日本文化的なものを考えている。

バザーにこだわらず、他のものでもよいのではないか？

役員がやりたくないとか、そのような理由ではなく、もう少し全体的に良い経験ができればいいと考えている。

<板倉様>

それでは、企業関係についてフランクさんが懸念されていることへの回答にならない。

<佐南役員>

現在引き継ぎを受けているが、主な企業は10社ぐらい。中止ではなく休止のお知らせを各担当の方へ連絡し、来年に影響が出ないよう対応する予定。

ご心配されている点は大丈夫だと思うが。

<役員 OB 脇田様>

企業への寄付依頼が大変なら、役員 OB にサポートを求めてはどうか？（会場から拍手）

現役員だけでは大変なので、仕事を振ってはどうか？

補習校と塾の違いは、ここでいろんな体験をさせてやれることが大きな特徴。なんとかもちこたえてほしい。

役員 OB として保護者として、これまでのイベントを続けて欲しいと願う。

<役員 OB 脇田様のご子息（卒業生）>

バザーと参加賞がなくなるのが残念。小1～高2まで補習校に在学。一番楽しかったのはお菓子や景品をもらうことだった。運動会後の参加賞、福袋的なお菓子とギフトカードが嬉しかった。バザーでお金の使い方を学べた。食べ物や本を買えるバザーは補習校でしか体験できない。現地校ではハンドメイドの食べ物は食べられない。補習校でしか味わえない、文化的なことがある。バザー、景品、参加賞は大事。保護者、役員にとってはすごい大変だけどバザーお願いしたい。（拍手）

<青木会長>

一点だけ勘違いしないで欲しい。参加賞は用意している。

意見が割れたため臨時総会をしないといけないので。役員で話し合いお答えするという事でいいだろうか？

<役員 OB 白様>

バザーの代わりにアクティビティを教えてもらえないか？

そうすれば、こちらも考えられるだろうから。

<青木会長>

現在、条件を整えている途中で、まだ調整中であるが、和太鼓演奏と体験。

保護者の方も来ていただける。昼休みのゲームはそのまま残す。

<役員 OB 白様>

自分の子供はバザーを楽しみにしていて、そこで親にプレゼントを買ってくれていた。

決まってから動き出して良いのでは？和太鼓は良いと思うが、全員打つことは無理。乱暴な子供も多い。何かあった場合、補習校で弁償できない。その辺を考えてほしい。

<役員 OB 三浦様>

役員を2年しました。この会場の多くは役員 OB でしょう？新しいことをする、何かを変えるというのはものすごく大変。いろんなしがらみで、役員全員に重い荷物を背負わせてしまった。何かを減らす判断が出来たことは、素晴らしい。（拍手）

だから、今年の役員を応援してほしい。

<役員 OB 柳原様>

子供は親に何かを買ってやりたい。しょうもない物でも嬉しかった思い出がある。保護者会とは”子供の為に、何が出来るか？子供が快適に補習校で過ごさせる”ものであり、親は二の次である。自分も役員時代大変だったが、子供の笑顔で大変さが吹っ飛んだ。自分の子供は卒業したが、子供の笑顔を見るのが好きで、今でも幼少部のボランティアをしている。役員が大変なのは分かる。役員だけでは無理なので、丸投げはダメだが、一般保護者に手伝ってもらうことを考えて、続けるべきだ。

いろんなイベントが削られて本当に悲しい。一部の人に負担がかからないよう、皆で分担したほうがよい。そうでないと、ドライで淋しい補習校になる。

<役員 OB 脇田様>

些細な事でも大事な思い出。補習校でしかできないこと。誇りを持って続けてほしい。

<船津役員>

貴重なご意見をありがとうございます。”どうしたら子供にとってもっともっとよりよい形になるかを、役員で毎日話し合っている。子供も親も同じ気持ちで楽しめる形を探っている。今年度役員も、役員 OB も気持ちは同じである。

幼少部バザーについて、”マックの景品”を入れたりする心ない保護者がけっこうな割合いると聞く。一体子供

の夢をどう思っているのか？泣いて帰ってくる子もいる。

この事実をとらえ、他により良いものはないのかと考えている。

役員の話し合いを皆さんに見てもらいたい。”しんどいよね、やめよう”そんな発言は一言もない。

何か形を変えて楽しめるものを考え、ここまできた。

有志が何かをしてくださるなら、お力を借りたい。平行して何かイベントをする。新しい方法はいろんな形があるに違いない。総会のような場がなかなか無いので、意見交換ができず残念。役員OBが築いてくれたものを引き継ぎ、それをより良くしたいという気持ちをベースに活動を行っている。秋祭り楽しかったよね、と言ってもらえるように努力しているのでご理解いただけたら幸いである。（拍手）

<役員OB フランク様>

漢字ノート販売を有志でさせてもらうので、よろしくをお願いします。

<役員OB 脇田様>

いろんな事が有志でさせてもらっても、頭は保護者会ということにしないと筋が通らない。そこだけ青木さんよろしくをお願いします。

<青木会長>

丸投げではまとまらないので、全体の調整役はやっていくつもりだ。

<役員OB フランク様>

丸投げでいいです。丸投げでお願いします。

<青木会長>

何かしらの調整を考えて、もう一度議論の場をもうけたい。

<役員OB 脇田様>

運動会の参加賞はないのですか？

<青木会長>

ギフトカードです。（昨年4ドル→今年5ドル）

<脇田様>

お菓子は無いんですね？

<青木会長>

今回、時間的にも厳しいのでこのようにしたい。

ギフトカードのみにしたのは、運動会が終わって、袋をガサガサ持つより、コンパクトに。帰りにでもお店に寄ってもらい楽しい思い出にしてほしい。”物より思い出”を込めたつもりである。今から、お菓子の袋詰は厳しい。

<役員OB 脇田様>

有志で袋詰めをしたら、保護者が配るのか？

<青木会長>

出来ないとは言えないが（運動会まで残り2週間）仕分け袋詰めをする場所、ボランティアはTシャツ販売でお願いしているので、難しい。

<一般保護者の男性>

自分たちは今年の役員にお任せしているので、役員で決めてもらってよい。

<青木会長>

本当のところを言うと、委任状をもらっているなので、ここで採決をとると、今年の役員のアイディアが通ってし

もう。つまり総意になる。しかし、時間をとって総会に参加してくれた方の声を全く無視するのも、保護者会のみとまりがなくなる心配がある。話を持ち帰って、役員内で話をさせてほしい。

<一般保護者の女性>

このような場で話すのは、初めてです。イベントを減らすのは、役員になる人が減ったからとのことですね？役員になりたい人が少なくなっていることもあり、役員の負担を考え、次に続いていく保護者会を作るために原点、保護者会の本来の姿に戻るということで、必要にかられて行事を削減する案が出たわけですね？

今年の役員の方が子供の事を愛して、考えてくださった事が分かりました。

大事な事は”役員をやってくれる人がいなくなる”これが一番の問題です。

最初に言ってもらったので、保護者会のためにやってくれているというのがよく分かりました。（大きな拍手）

<青木会長>

総意としては”今年の役員ですすめてくれたら？”という感じはするが、有志として子供バザー、参加賞したいと思っている方も多い。今年、両立となると時間、場所、どちらも厳しくなるので、もう一度保護者の話を聞く時間をとるということでよいか？

役員達もそれでいいか？

<一般保護者>

手をあげてもらえば？

<青木会長>

このままで良い、議決・・・（過半数を若干超えている）

反対、承認取り直し・・・（過半数割れ）

若干数、議決を超えているが、いったん話を持ち帰る。全員の総意は難しいだろうが、より良い策はないか、役員内で話し合いたい。

予算案承認は不可。 （安井副会長）

議案の提出なし。

11時00分 ハーカー校でのドロップオフ中止について（青木会長）

前校舎ではほとんど駐車場がなかったため、路上駐車がほとんど。過去の役員がドロップオフゾーンがあると便利だろうと始まった。校舎が変わって、そのまま引き継いだら、ハーカー校は家庭数500に対し、駐車台数450台と、とても広い。

現在のドロップオフ利用台数は、役員が数えたところ35台から45台ぐらい。

朝の当番 ドロップオフ担当3名、交通整理1名、横断歩道1名

広い駐車場なので、ドロップオフではなく違う場所の安全確認をしてほしい。

夏季集中学習後、ドロップオフ中止。

補習校へは、休止と伝える。もし校舎移転の場合はまた考えるのでご了承願いたい。

どうしてもという方は、有志でのドロップオフサポートなどを考えることができるので連絡してほしい。

11時10分 その他質疑応答

<秋浜役員>

本日、いろんな意見を聞いた。私達役員もいろいろ考えた。学校側も新しいこと、通知表見直しなどにチャレンジしていることが分かった。役員で、何かもっといい事ができないかとチャレンジしている。子供バザーも中止ではなく、休止と学校側に念を押しているのも、もし今年新アクティビティが成功すれば、来年平行して有志の方がいればやっていただきたい。イベントをやめるといふ噂が先行しているが、やめるのではなく、休むというのを理解して、新イベントをやってみたいという気持ちを理解していただきたいと思っている。（大きな拍手）

<役員 OB 保刈様>

個人的には現状維持もいいし、変化もいい。ただ100%の理解は無理なので、80%ぐらいとれば良いと思う。役員のプロセスとオープンにして、意見を言いたい人が言える場をつくっては？役員は大変だと思うが、宜しくお願いしたい。

<役員 OB 高田様>

毎年この場に来て思うのは、役員 OB の皆様が自分がされたことを大事にされる。自分が行ったイベントや行事がなくなると淋しいのは分かるが、お互いの立場を尊重してほしい。

増やすにしろ、減らすにしろ大変なエネルギーがいる。イベントを増やすのは、授業数を減らす先生の事も考えて欲しい。私達保護者が良いと思っていることが、必ずしも学校側が良いと思っているかは分からない。ここに来ている方はバザーが良いと思っているかもしれないが、会場の外にいる方、ゴミみたいなバザー品を持ってくる方にとっては、バザーなんてどうでもいい。それは悪いのか？そうではなく、補習校にイベント目的ではなく、勉強目的で来ている。お互いの立場があるので、それを尊重してほしい。（大拍手）

11時20分 **子供新聞についての説明** （市川校長）

OCS から依頼があった。興味がある方はチラシをどうぞ。

11時25分 **閉会の言葉**（安井副会長）